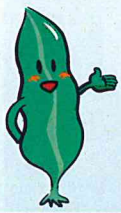


はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.46
2013.3



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

さっぽろ東急百貨店 「北海道浜の味産直市」に参加

- 2月14日(木)～20日(水)までの7日間、さっぽろ東急百貨店で催された「北海道浜の味産直市」に14日(木)～16日(土)までの3日間、歯舞漁協が参加しました。歯舞地区マリンビジョン協議会のPR事業の一環としてこれまでも参加しており、今年で6年目の取組となります。(昨までは「浜の味ミニフェスティバル」として開催されていましたが、今年から名称が変わりました)

- 「生干しコマイ」、「開きホッケ」、「北海しまえび」、「子たこ(やなぎたこ)」、「さんまミリン干し」の他、「はぼまい昆布しょうゆ」を始めとする調味料や各種昆布製品など計18品目を販売。

- 悪天候の影響で客足が伸びない日もあり、持ち込んだ鮮魚は完売することができましたが、昆布しょうゆ等は近くのスーパーで購入しているというお客さんが多く、完売には至りませんでした。しかし、実際に使っているお客さんから生の声を聞くことができ、歯舞ブランドが広く浸透していることが伺えました。

- 魚は「食べ方がわからないから」、「調理に時間がかかるから」といった理由で購入をためらうお客さんもいましたが、その場で調理し試食を勧めることで、「思ったよりも手軽にできる」という印象を持っていただき、購入に繋がりました。また、初日に購入してくれたお客さんが「おいしかった」と最終日にも足を運んでくれたリピーターも見受けられ、歯舞特産物を多くの方にPRすることができました。



北方領土隣接地域における物産品のPR販売事業

東京都新宿区新宿駅西口地下広場「イベントコーナー」で開催された、平成24年度北方領土返還要求街頭啓発事業・北方領土隣接地域における物産品のPR販売事業に12月1日(土)～3日(月)の3日間参加しました。

今回は棹前昆布を使用した「結び昆布」を試食として提供し、「すごく柔らかい」、「とても美味しい」など試食した方から沢山の声があり、貝殻棹前昆布をPRできました。また、「はぼまい昆布しょうゆ」などの調味料を通販で買ってくれているお客さんの声も直接聞くことができ、今後も首都圏での知名度アップを目指して活動していきます。



＜売り場の様子＞

北方領土問題をテーマに東京の小学生が歯舞漁協を取材

領土問題を学ぶ東京都渋谷区立千駄ヶ谷小学校の5年生5人が「こども記者」として国内4カ所で領土問題について取材し、その成果を発信するプロジェクト「われは海の子 2012」の一環で、日本の子どもたちが海の大切さや日本が海に囲まれた島国であることを認識し、領土問題に関心を持ってもらうことが目的で12月22日（土）～23日（日）に根室市を訪れました。

子どもたちは、22日に北方領土視察や元島民との懇談を通して、北方領土の近さを実感していました。

翌23日には歯舞漁協を訪れ、晴天の中、遊覧船「はばまい丸」に乗船し、子供たちは船の上から間近に北方領土を眺めることができ、その雄大な景色に感激の声をあげていました。昼食は当組合の食堂で歯舞特産の定食を提供し、生徒たちからは「美味しい」という声があがりました。

昼食後、子供たちは根室の漁業について学び、今回の体験・取材結果を東京で発表し、報告書にまとめて広く伝えていく予定です。



＜歯舞漁協での講義＞



＜すぐ近くに北方領土を眺めることができました＞



＜ホッケフライ、花咲ガニの鉄砲汁、北海しまえびなどが並ぶ昼食＞

マリンビジョン女性交流会議が開催されました

3月18日（月）、第7回マリンビジョン女性交流会議が開催され、歯舞地区マリンビジョン協議会からは、歯舞漁協女性部長の田村 栄子さんが出席しました。

北海道開発局では現在、「北海道マリンビジョン21」の見直しを行っているところで、実際に活動する女性たちの意見も反映させたものにするため、女性の立場から見た課題、女性がさらに活動しやすい環境づくりに必要な方策などが議論されました。



＜会議の様子＞

編集・発行・お問い合わせ

■編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

